吹き抜けの市民ロビーで芸術鑑賞

1995年に移転した**伊東市役所**は、ちょっとしたアートを楽しめる意外な寄り道ポイント。広場、市民ロビーなどにある彫刻や、8階にある池田満寿夫作の陶板、西側玄関には友好都市イタリア・リエティ市から贈られたベルナルティーノ・モルサーニ作の復刻ギリシャ戦士像等々、様々なテイストの作品に出会うことができます。

市役所の建物自体も帆船をイメージした芸術的な建築物で、海のまち伊東のシンボルとなっています。休日でも、エレベーターは1～8階を運行していますので、ぜひ立ち寄って下さい。8階から市内を見下ろす眺望はなかなかのものです。

平日は、1階の喫茶『かめりあ』で、コーヒー、紅茶他が召し上がれます。営業時間は午前9時～午後4時です。8階のレストランは、景色を楽しみながらの食事ができます。営業時間は午前11時～午後5時です。

伊東市役所　伊東市大原2-1-1　☎0557-36-0111

彫刻「天地より生ずる」重岡建治作

彫刻「DREAMER」中岡慎太郎作

新井のあちらこちらで
ひものの天日干しが見られる

物見塚公園にある
伊東次郎祐親
（曽我兄弟の祖父）の像

歴史ロマン、古代文化遺産との出逢い

6世紀頃の豪族たちの古墳が伊東市内4か所で発見されました。その中でも特に新井の塚畑古墳では鉄製の剣や玉、鈴などの副葬品が多数発見され、当時の豪族の富と権力を知ることができます。このような伊東市内の出土文化財ならびに、先人たちが残した多くの文化遺産が**伊東市文化財管理センター**で展示されていますので、ぜひご覧下さい。

塚畑古墳副葬品

伊東市文化財管理センター　※入館無料
伊東市竹の台3-11　☎0557-36-2182
営　業／午前9時から午後4時30分
休館日／月曜日（月曜日が休日の場合その翌日）と12／28～1／4

玖須美の石燈篭

文化15年（1818年）当時海岸から道が石燈篭にまっすぐつきぬけていたので「つんぬけ」通りと呼ばれました。

この場所から海上を行き来する船の灯台の役目をこの石燈篭は果たしていました。古くはこの辺りを和田村と呼び、たいへん賑わっていましたので、屋号を「石燈篭の紺屋」といったように付けました。

※現在地は昔あった場所から移動しています。

屋号「石燈篭の紺屋」

昭和浪漫　伊東市観光・文化施設「東海館」

昭和初期、松川河畔に建築された温泉旅館「**東海館**」は伊東の観光、温泉の文化・歴史を物語る貴重な木造建築です。西隣に軒を接する旅館「いな葉」とともに三階建ての上部に望楼を載せた姿は現代に希な形態であり、時代の生き証人とも言えます。浜木綿の間でティーブレイクや、昔懐しいお風呂でタイムスリップしてみるのも楽しいですよ。

伊東市指定文化財・「東海館」

国登録文化財・旅館「いな葉」

汐吹公園と扇山展望台

かつて、伊東温泉の観光名所、子どもたちの遠足、若者たちのデートコースとして、訪れる人が絶えなかった汐吹公園。その扇山展望台は、現在もすばらしい眺望を堪能することができますが、頂上まで登る際には足元がよくないのでお気をつけ下さい。

汐吹公園で見つけた
面白い看板

潮が満ちる時、打ち寄せる波が洞穴中で空気を圧縮し洞穴から潮が吹き上げられます。

手石島は握り拳に似ているというのが名前の由来の無人島で磯釣りの穴場になっています。

漁師たちが漁の安全を願う神社

1996年に伊東青年会議所が行った「街のお宝コンクール」で、手石島の横の岩が見る角度によってゴリラに見えるので命名されました。

西の波と東の波が打ち寄せてぶつかってできる瀬合（せあい）を「三角波」の通称で呼びます。手石島付近の浅瀬での現象で南西から北東の風に変わった時、台風が接近する時の北東の風、台風通過後の風が吹いた時に見られます。この三角波を利用してサーフィンをする人もいます。

潮の香りいっぱいの磯に面した道路です。

海辺とまちなみコース
伊東の海辺と漁業のまち新井を訪ねて

コース紹介

伊東駅をスタートして左手に歩くとすぐにオレンジビーチです。靴を脱いで裸足で砂浜を歩くのも気分のいいものです。まもなくなぎさ公園に着きます。公園の芝生に寝転んで重岡建治の「家族の像」を鑑賞。渚橋を渡り、観光会館を通り過ぎると船着き場が見えてきます。道路をゆったりと左カーブすると魚市場です。新井では干物店や水産会社が軒を連ねています。海岸線に沿ってバイパスを歩いていくとやがて川奈方面の分岐点です。海岸沿いを進むと汐吹公園に到着。手石島を眺めながらのんびりと新井に戻ります。新井の最初の信号の左手には懐かしい時代の香りのする太吉丸の家があり、その先山側に恵比寿神が祀られた新井神社。この新井や玖須美周辺は寺が多数あります。寺の庭など眺めながら歩いていくと毘沙門天芝の湯（共同浴場）。その先をちょっと寄り道。左手の坂を上って行くと右に仏現寺と伊東市役所があります。市役所の西側に物見塚公園。少し下ると伊東市文化財管理センターがあります。文化財など見学し、街中に下ると江戸徳川将軍に湯を献上した和田寿老人の湯（共同浴場）。あんじん通りを進むと松川沿いの遊歩道に昭和初期に建造された国登録文化財の旅館「いな葉」と観光文化施設として公開されている伊東市指定文化財「東海館」が見えます。遊歩道を歩き、いでゆ橋を渡ると伊東の繁華街スカイドームキネマ通りのアーケード、そして湯の花通りを通り抜けると伊東駅です。

海底火山手石海丘

1990年、有史以来といわれた海底噴火は手石島付近で起こりました。

海底火山は手石海丘と名付けられ、当時のことは伊東の人たちの忘れることのできない災害の一つです。

「アダムス胸像」重岡建治作

伊東漁港

「家族」重岡建治作

なぎさ公園

市民や観光客のいこいの場所で、イタリアでエミリオ・グレコに師事した地元彫刻家重岡建治さんの作品が数多く展示されています。

コース案内

スタート JR伊東駅 —20分— なぎさ公園 —10分— 魚市場 —35分— 汐吹公園 —40分— 毘沙門天芝の湯 —8分— 和田寿老人の湯 —5分— いでゆ橋 —3分— 猪戸通り —5分— JR伊東駅 **ゴール**

寄り道コース
毘沙門天芝の湯 —5分— 仏現寺 —1分— 伊東市役所 —5分— 文化財管理センター —7分— 和田寿老人の湯

※歩程約2時間・時間はおおよその目安として表示しました

毎年7月に行われるタライ乗り競走は、伊東市とリエティ市をとりもったユニークなイベント。レースの始まりが、伊東の夏到来を告げます。

ピアッツァ リエティ

日本におけるイタリア2001を記念して、イタリアの友好都市リエティより寄贈されたオリーブオイル搾油用石臼モニュメント

オレンジビーチ